

(別紙4(2))

事業所名 グループホームふれあいの家六供

作成日: 令和 7 年 5 月 21 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
2	10	家族との意見交換の方法として利用者の個別の情報を提供してはいかがか。利用者の要望は記録に残し、検討時の参考にしてはいかがか。	利用者様家族等と意見交換ができ、それらを運営に反映させる。	まずは意見交換できる機会を設ける。	6ヶ月
3	26	利用者への支援方法についての情報交換や、家族との意見交換も生かし、3か月ごとの計画の見直しに取り組んではいかがか。	利用者様の変化に気づき、現状に即した介護計画を作成する。	現在6ヶ月ごとの介護計画の見直しを、もっと短い期間で見直せるようにケアマネジャー中心に日程調整を行っていく。	6ヶ月
4	35	災害時の避難誘導がスムーズに実施できるよう、様々な状況を設定した自主訓練の回数を増やしてはいかがか。	自主的な防災訓練を年4回実施する。	四季に合わせて秋冬は火災訓練、夏は水害訓練、春は地震訓練などを季節ごとにおこない、自主訓練を積み重ねることで現実に災害が起こった際に落ち着いて対応できるように準備する。	6ヶ月
5	45	利用者のその日の気分の確認と選択の場面として、予定日以外でも入浴の声掛けをしてはいかがか。	利用者様の希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめる支援をする。	入浴予定日ではなくても、いつでも入れる事を伝えていく。そして、入りたいという利用者様にはなるべく要望に応じていく。	12ヶ月
1	49	利用者の状態に合わせ、少人数での散歩も取り入れてはいかがか。近くにある公園や公民館などの利用もどうか。	利用者様の希望にそって、外出できるように支援をする。	近くにある公園まで散歩してみる。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。